

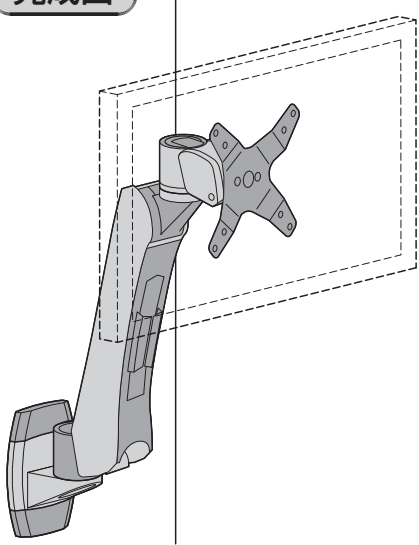
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
この液晶モニタアームは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようにご指導ください。

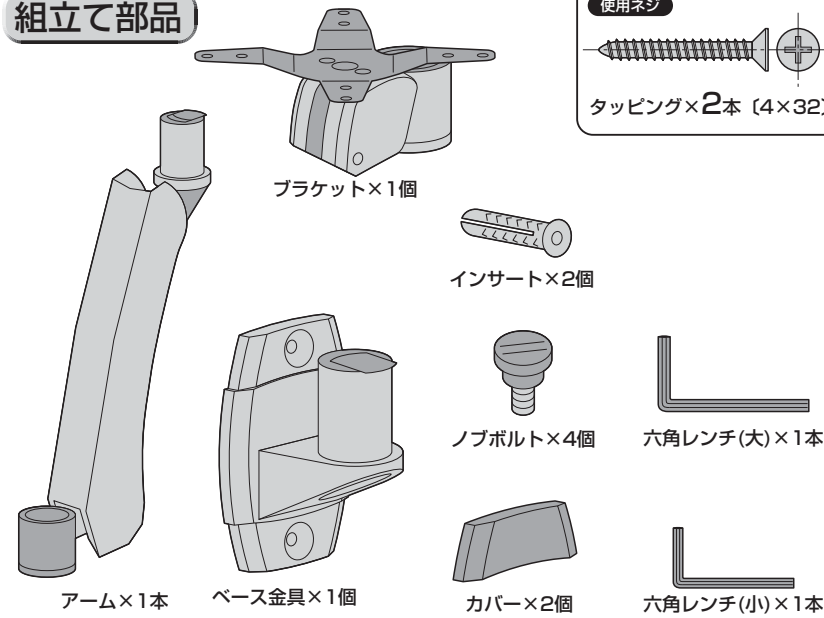
★用意していただくもの・・・  
電動ドリル、プラスチックハンマー  
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図

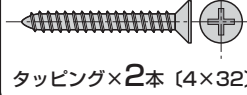


総耐荷重 2~10kg (2kg以上10kg以下のディスプレイを取付け可能)

組立て部品



使用ネジ



**必ずお守りください**

壁面はディスプレイと本製品(2kg)の合計重量の5倍の荷重に耐えられるように、必要に応じて補強するなどしてください。

壁面の構造、または材質が荷重に十分耐えられる場所を取付けてください。  
強度が満たない壁面を取付けるとディスプレイが脱落する恐れがあります。

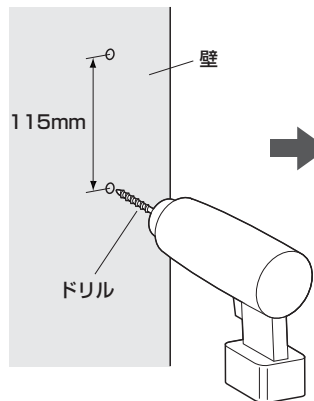
※壁の材質や強度などが不明な場合は取付け工事業者などにお問い合わせください。  
※また、本製品を壁面に設置後、撤去しますと壁面に取付け穴、インサートが残ります。ご了承ください。

**1 壁面にベース金具を取付けます。(壁の内部構造により取付け方法が違います)**

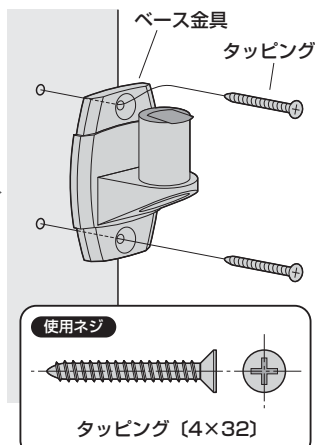
※必ず壁の内部に芯材がある部分に取付けてください。壁面はディスプレイと本製品(2kg)の合計重量の5倍の強度に耐えられるように、必要に応じて補強するなどしてください。

※壁に芯材が入っている場合  
(石膏ボードや空洞がある材質の場合は芯材のある場所に合わせて取付けます)

① ドリルを使い壁に直径2.5mm、深さ約20mmの下穴をあけます。

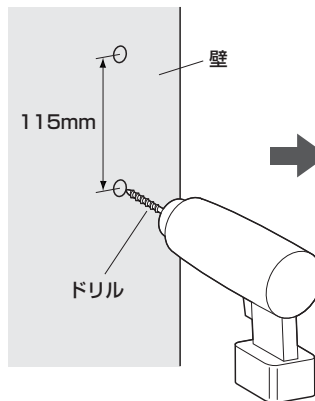


② ベース金具をボルトで固定します。

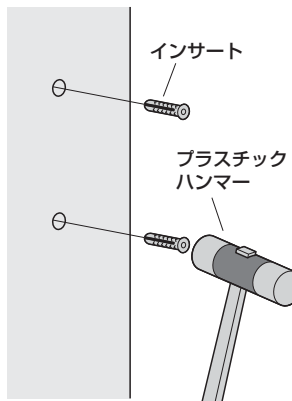


※コンクリートの壁の場合

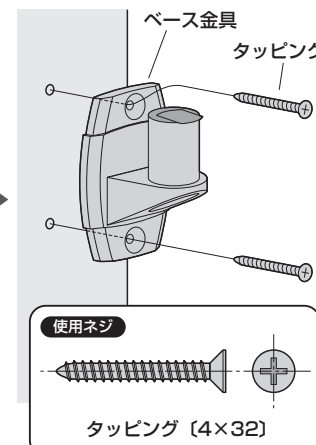
① ドリルを使い壁に直径6.5mm、深さ約30mmの下穴をあけます。



② プラスチックハンマーなどでインサートを下穴に叩き入れます。

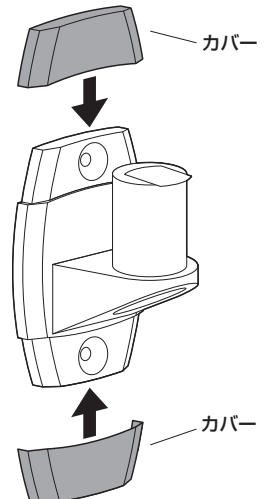


③ ベース金具をボルトで固定します。

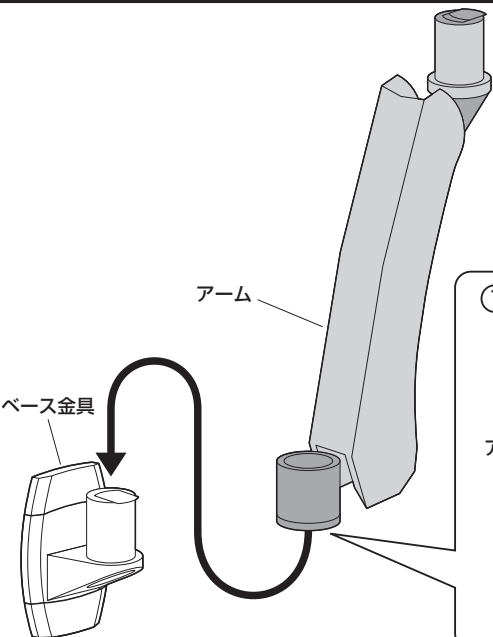


**2 ベース金具にカバーを取付けます。**

※それぞれ矢印の方向にパチンと音が出るまで差し込みます。

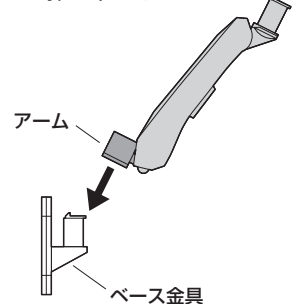


### 3 ベース金具にアームを差し込みます。

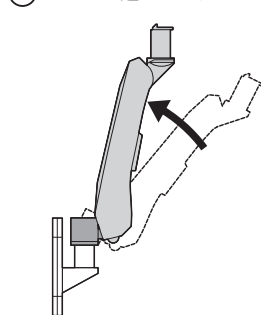


**▲ 注意 ▲**  
指などを挟まないように十分ご注意ください。

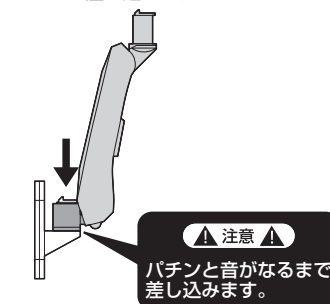
① ベース金具にアームを斜めに押し当てます。



② アームを起こします。



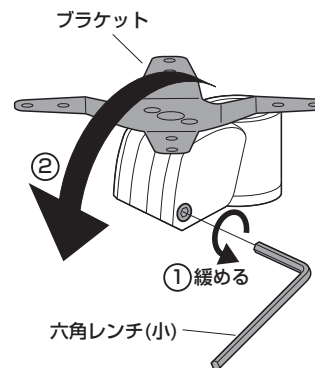
③ ベース金具にアームを最後まで差し込みます。



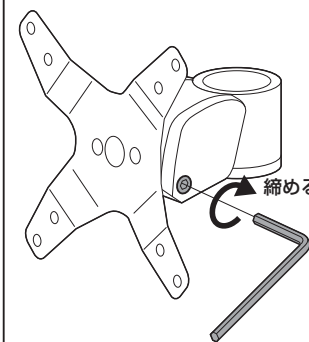
**▲ 注意 ▲**  
パチンと音が出るまで差し込みます。

### 4 ブラケットの向きを変えます。

ボルトを緩めてブラケットの向きを90° 変えます。



ボルトを締め付けて固定します。



**▲ 注意 ▲**  
可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。

### 5 ブラケットをディスプレイの裏面に取付けます。 ※取付け可能なディスプレイの重量は2~10kgです。それ以外のディスプレイは絶対に取付けしないでください。

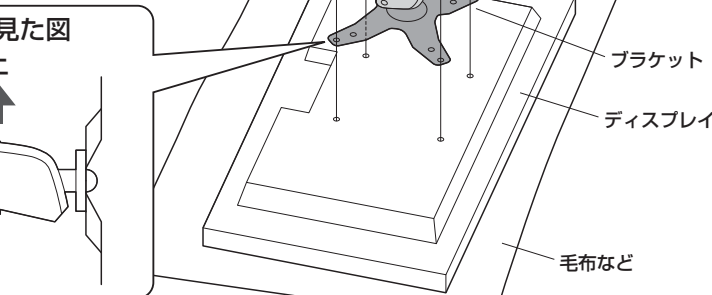
**▲ 注意 ▲** 毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。

**▲ 注意 ▲** ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。スタンド類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。

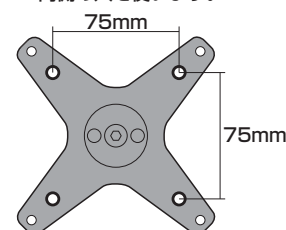
※付属のボルトが最後まで締まらない、またボルトが少ししか回っていないなど、ボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意ください。市販の適切なサイズのボルトをご用意ください。

ノブボルト  
※コインなどを使ってしっかりと締め付けます。

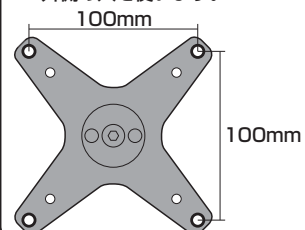
横から見た図



※ネジ穴ピッチ  
75mm×75mmの場合  
内側の穴を使います。



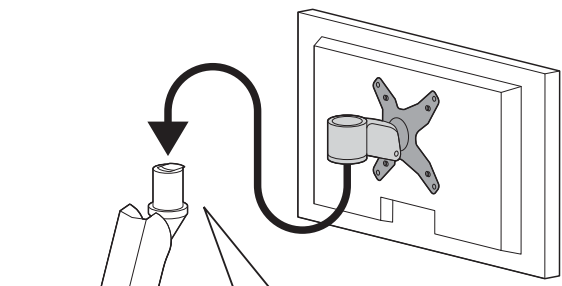
※ネジ穴ピッチ  
100mm×100mmの場合  
外側の穴を使います。



**▲ 注意 ▲** ボルトが長すぎるとディスプレイを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

6

アームにブラケットを取付けます。



▲注意▲  
この作業は必ず大人2人以上で行ってください。

▲注意▲  
指などを挟まないように十分ご注意ください。

① アームBにブラケットを斜めに押し当てます。

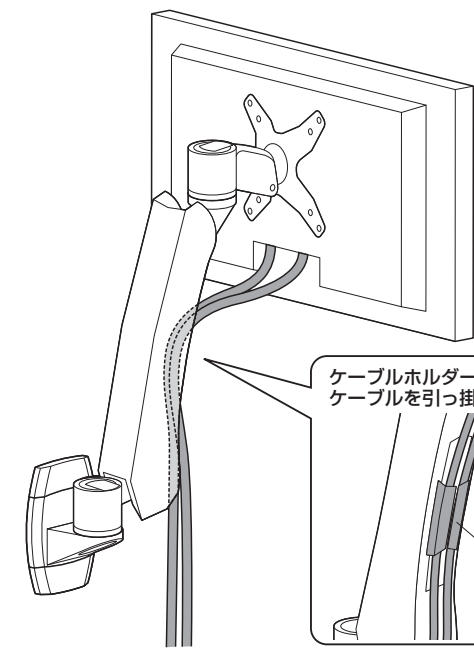
② ブラケットを起こします。

③ アームBにブラケットを最後まで差し込みます。

▲注意▲  
パチンと音が出るまで差し込みます。

7

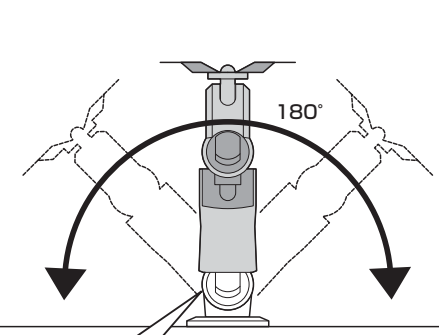
ディスプレイにケーブルを取付けて完成です。



ケーブルホルダーにケーブルを引っ掛けます。

ケーブルホルダー

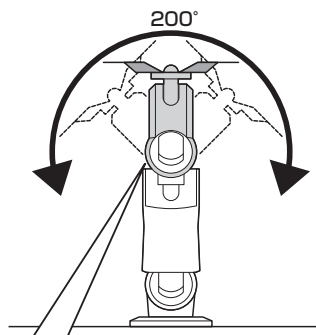
アーム各部の可動範囲、及び固さの調節方法



アームの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチでボルトを回して調節します。

締める

緩める



アームの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチでボルトを回して調節します。

締める

緩める

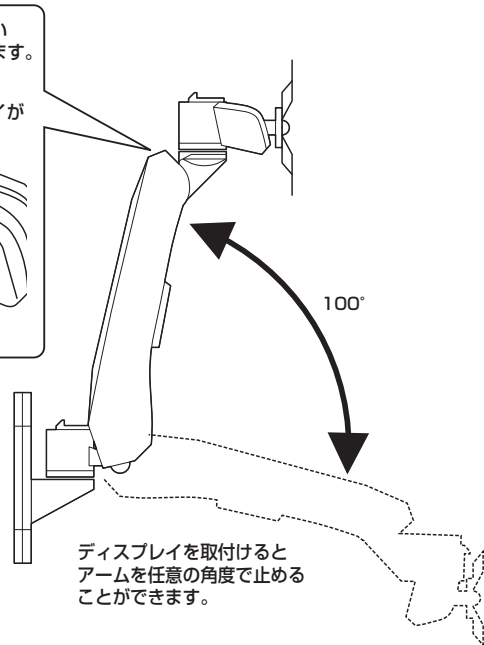
ディスプレイの高さがうまく固定されない場合は、アームのボルトを回して調節します。

ディスプレイが下がる場合

ディスプレイが上がる場合

六角レンチ(大)

調整ボルト



上方90°

ディスプレイ 90° 回転

ブラケットの動きが軽すぎたり、重すぎる場合は六角レンチ(小)でボルトを回して調節します。

締める

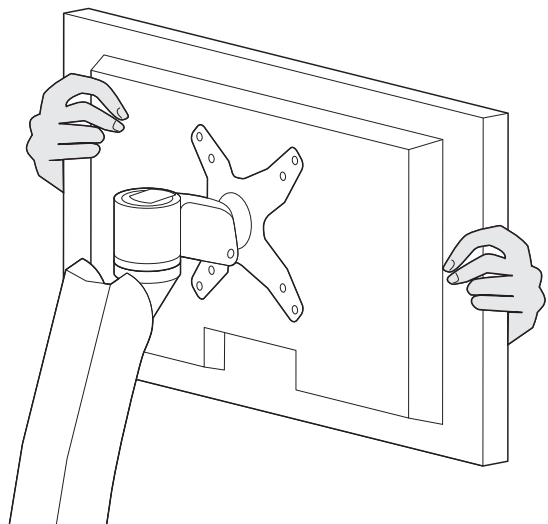
緩める

六角レンチ(小)

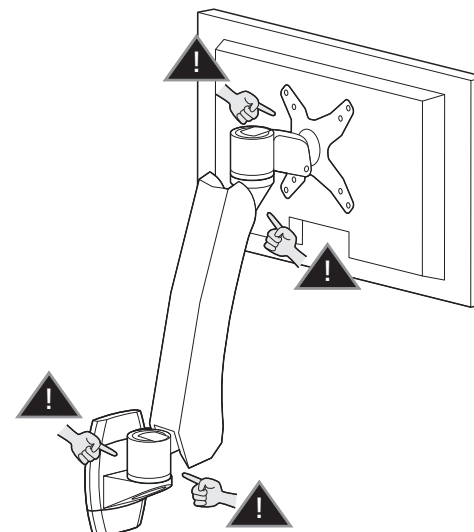
ディスプレイを取付けるとアームを任意の角度で止めることができます。

## 安全の為に注意していただく点

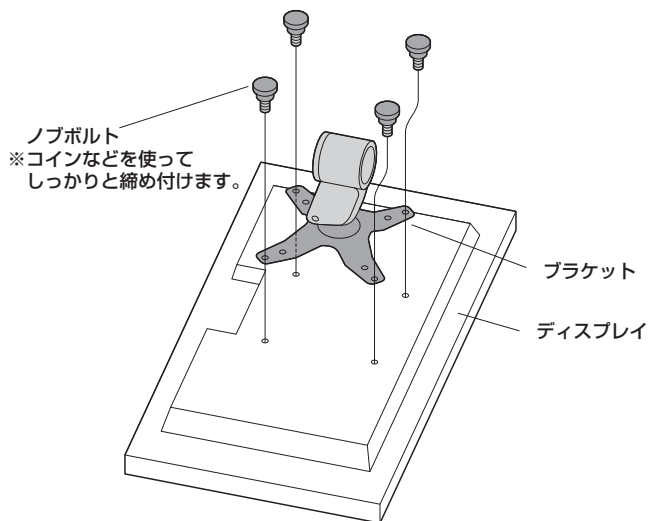
ディスプレイの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



可動部分で指をはさまない様に注意してください。



ディスプレイは4本のボルトでしっかりと固定してください。



その他

- ⚠ 本製品を、振動のある所に置かないでください。
- ⚠ 2~10kg以外のディスプレイは取り付けしないでください。
- ⚠ アーム部に物を置かないでください。
- ⚠ 室温の元で操作してください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ  
11/05/TTD&C

製品の品質管理には細心の注意をはらっていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買求めの販売店又は右記までお気軽にご相談下さい。

サンワサプライ株式会社

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1  
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8  
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033

<http://www.sanwa.co.jp/>